

平成30年度第1回なかい戦略みらい会議 指摘事項への回答

○ふるさと納税の返礼品になっていないブランド特産品については、返礼品にすることを前提に関係者と調整されたい。

⇒（回答）産業振興課

ブランド戦略5（5）において認証商品の販路拡大に向けた各種の支援策として「中井町のふるさと納税のお礼品として登録し、ふるさと納税実施者へのPRを行います。また、必要数量について、町が認定商品の事業者より購入します。」と掲げているとおり、認証事業者には返礼品に登録するように促していく。

○総合型地域スポーツクラブは、企業がやっても仕方ない。地域が盛り上がっていく習慣がつかないといけない。

⇒（回答）生涯学習課

中井町の「地域スポーツ」を考える勉強会においても、総合型地域スポーツクラブの活動は行政が行っていくものではないと強調しており、それを理解し引っ張っていく核となる人物も現れてきている。

○自走化を目指していくのであれば、受益者負担にできるかがうまくいくかの瀬戸際になる。

⇒（回答）企画課

国の交付金があるからこそ実施できている事業があるのも事実。事業全般において、町が財政負担をしなくても継続実施ができる方法を考え進めていく。

なお、中井の魅力体感ツアーは、昨年度参加費が無料であったものを今年度は一人2,000円にしている。

○一つ一つの事業がバラバラにやっている。イベントブース出展時にブランド特産品を販売するなど、連携して取り組んでいくべき。

⇒（回答）企画課

シティプロモーションのブース出展時にブランド認証品の販売を行ったり、試飲を行ったりした。また、里都まち交流拠点を拠点としてスポーツイベントやツアーを実施し、当施設で情報発信等も行っている。ただし、コラボさせた事業が少ないため、他の事業をどのように組み込めるか考えながら進めていく。

なお、庁内で開催している職員研修で「地方創生」をテーマに研修を行い、地方創生の趣旨を理解するとともに、全職員が一丸となって取り組んでいく重要性を共有した。

○町民の意見を聞く機会を設けた方がよい。また、そういう場が公開で設けられていることが大切。

⇒（回答）企画課

出張型地域懇談会「Cafe ミーティング」で町長が直接町民等の声を聞いたり、「わたしの提案」制度で町民等の提案に対して答えてきた。町民の意見を聞く場の創出については、他の手法も研究し考えていきたい。なお、転入・転出の手続きで来庁された方を対象に、3月から4月までの2か月間で「転入・転出者アンケート」を実施している。来年度はまちづくりに関する町民アンケートも実施する予定。

○新しいものでなくてもよいので、今あるものや人気のものを上手に取り込む工夫が必要ではないか。

⇒（回答）企画課

新しい取組みを始めなければならないという視点にとらわれず、「テニスのつどい」の開催のように、既存の人気のものを上手に活用していく方法を考えていきたい。

○シティプロモーションを行う上では、人材育成も兼ねて、10代や20代のシビックプライド醸成を図っていったらどうか。

⇒（回答）企画課

シティプロモーション戦略指針において、30代から40代をターゲットにしているが、10代、20代も子育て世代になっていく人材である。町内の小中学校、近隣の高校・大学などとも連携を図り、若年層の中井町への関心・愛着の醸成も図っていく。